

令和2年度 地方創生推進交付金活用事業

地方創生交付金の評価基準（4段階）

- | | |
|-------------------|---|
| ① 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 |
| ② 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 |
| ③ 地方創生に効果があった | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 |



MAIBARA CITY SALES

ビワイチ推進プロジェクト (5/5年目)

横連携

県: 事業連携

地方創生推進交付金 R2年度歳入予算: 1,687千円(事業費3,375千円)

- 英語版ルートマップ製作によりアフターコロナを見据えた受入および案内体制の強化を図りました。
- 県内唯一の新幹線停車駅・米原駅をビワイチの起点として定着を図るため、米原駅サイクルステーションの運営を支援しました。
- (株)モンベルと連携したジャパンエコトラックルートの継続普及により認知度の向上を図りました。

KPI (滋賀県全体)
【赤字は目標未達成】

事業開始前 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度
← (各年度の数値は前年比で表記、2016年度は事業開始前との比較で表記) →

		事業開始前	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ビワイチ推進による	目標 (人)	52,000	19,600	19,600	29,400	22,500	9,800
日帰り客・宿泊客の増	実績 (人)	-	20,000	23,000	11,000	3,000	-22,000
ビワイチによる日帰り・宿泊客	目標 (千円)	614,000	262,000	262,000	393,000	300,600	131,000
の増加による経済波及効果	実績 (千円)	-	267,200	307,300	147,000	40,100	-137,600

これまでの実施内容

- ◇新幹線駅直結のサイクルステーションの設置
- ◇ジャパンエコトラック登録
- ◇市民団体との連携によるサイクリングコース設定
- ◇宿泊拠点 (グリーンパーク山東コテージ)
- ◇休憩拠点の整備 (伊吹山インフォメーションセンター)
- ◇伊吹山ライブカメラの設置
- ◇びわ湖の素・米原グルメライドの開催



令和2年度の取組

- ◇英語版ルートマップの製作
アフターコロナを見据え、インバウンド向けに英語版のルートマップを製作・設置
A4サイズ 5,000部作成・配布
- ◇米原駅レンタサイクルステーション
・レンタサイクル貸出数 1,369台 (前年比▲1,117台)
- ◇伊吹山ライブカメラ
・ウェブサイトアクセス数 212,065件 (年間)



「スポーツレガシー」を生かしたインバウンド獲得プロジェクト (3年目/3年)

横連携

市単独事業

地方創生推進交付金 R2年度歳入予算:482千円(事業費1,169千円)

- ・ 上丹生での工芸体験メニューを増設するとともに、ウェブサイト、テレビ、ローカル紙など様々なメディアを通じて情報発信を図りました。
- ・ 東京オリンピックを契機に、「ホッケーのまち まいばら」への機運醸成とともに、まちの賑わい創出を図りました。

KPI (市単独) 【赤字は目標未達成】		(事業開始前)	2018年度	2019年度	2020年度
← (各年度の数値は前年比で表記、2018年度は事業開始前との比較で表記) →					
米原駅近隣施設での 外国人宿泊客数	目標 (人)	2,600	100	300	1,000
	実績 (人)		885	2,755	-5,161
外国人向けの特産品、 体験プログラム・ツアーの造成数	目標 (個)	2	2	3	5
	実績 (個)		2	4	2
外国人向け 体験プログラム・ツアーの参加者数	目標 (人)	0	40	60	100
	実績 (人)		0	6	4

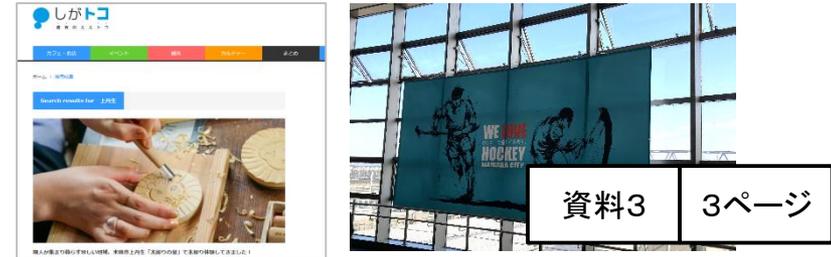
これまでの実施内容

- ◇インバウンド向けツアー事業者設立支援
- ◇伝統工芸を活かした木彫アクセサリー
- ◇木彫の里上丹生での体験メニュー構築
- ◇新たな米原観光事業の創出 (青岸寺ライトアップ)
- ◇関西国際空港でのプロモーション



令和2年度の取組

- ◇木彫の里上丹生での体験メニューの増設、PR活動
体験プログラム (くるまデコレーション等) を増設
県内の観光情報専用サイトを活用したPRを実施
- ◇米原駅でのプロモーション
「ホッケーのまち まいばら」を横断幕を設置



「戦国・琵琶湖」体感・体験ツーリズム深化プロジェクト (2/3年目)

横連携

県:事業連携

地方創生推進交付金 R2年度歳入予算:148千円(事業費296千円)

- 市ならではの戦国時代の勇士等を描いたパネルを製作し、米原駅での企画展を開催することで、市の魅力を発信し、駅利用者へのPRを図りました。

KPI (滋賀県全体)		(事業開始前)	2019年度	2020年度	2021年度
		← (各年度の数値は前年比で表記、2019年度は事業開始前との比較で表記) →			
戦国にまつわる観光施設の観光入込客数	目標 (万人)	171	2.03	2.30	1.20
	実績 (万人)		-2.88	-67.41	未定
観光消費額	目標 (億円)	1,793	77	41	46
	実績 (億円)		242	-706	未定
延べ宿泊者数	目標 (万人)	387	23	15	15
	実績 (万人)		21	-166	未定

これまでの実施内容

- ◇在来種伊吹そばのPR
- ◇戦国ロケット流星の打上げ (関ヶ原の戦いで石田三成が使用したのろしが起源といわれる「流星」の打上げに約300人が観覧)
- ◇米原曳山祭りの開催支援
- ◇まいばら乗りリフェス



令和2年度 of 取組

- ◇米原駅での企画展開催
石田三成 (観音寺)、京極氏 (徳源院) など米原市の戦国時代の観光コンテンツを中心としたパネル計6点を製作し、米原駅自由通路へ展示

